

奥羽大学報



ジーンズの女(山田良定作)

目次

2022年度卒業式を中止／卒業生の皆さんへ	2
2022年度福島県医療福祉関連教育施設協議会県中地区	
2022年度ネクストホープ研修会の開催	3
第72回奥羽大学歯学会の開催／第61回日本薬学会東北支部会の開催／	
2022年度薬学部第2回FD研修会	4
附属病院／ちょっと寄り道	5
2022年度学位授与論文題名一覧	6
歯学部紹介	7
薬学部紹介	8
キャンパスの風景／同窓生のひろば	9
岡田英俊先生を偲んで／人事	11
特待生制度	12

奥羽大学の理念・目的

理念

高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな人材を育成する。

目的

奥羽大学は、教育基本法（昭和22年法律第25号）並びに学校教育法（昭和22年法律第26号）に基づき、広く知識を養うと共に、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を育成し、国民の福祉と文化の発展に寄与することとし各学部のその目的は、次の各号のとおりとする。

1. 歯学部は、高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな歯科医師を養成する
2. 薬学部は、高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな薬剤師を養成する

2022年度卒業式を中止

2022年度卒業式は、3月10日(金)、本学に保護者や来賓を迎えて行う予定であった。しかし、新型コロナウイルス感染症は未だ収束していないことから、昨年度に引き続き中止となった。

卒業生と保護者には心待ちにしていた卒業式ではあるが、来場者の健康と安全を考慮した上での決断であった。なお、卒業証書と学位記は、後日、郵送にて保護者へ届けられることになっている。

卒業生の皆さんへ

学長 清浦有祐

このたびは、ご卒業おめでとうございます。入学以来、この日を心待ちにしていたことでしょう。心よりお祝いを申し上げます。本来ならば、皆さん一人ひとりの顔を見ながら祝いの言葉を伝えたかったのですが、新型コロナウイルス感染症の収束には未だ至っておりません。そのため、卒業される皆さんのみならず、皆さんのご家族の方々の健康と安全を考えた結果、このような形で伝えることとなりました。どうかご理解をいただきますようお願い申し上げます。

奥羽大学は、1972年に影山四郎先生が東北初の歯科大学である東北歯科大学として創立されました。当時の東北地域は、齲蝕や歯周病に悩む多くの患者さんが歯科医師と歯科診療所の少なさから十分な歯科医療を受けることができない状態にありました。そのような状況を打破するために、影山四郎先生は周囲からあった反対の声にも動ぜず、確固たる信念に基づいて歯科大学を開学されました。その後、東北歯科大学は1986年には大学院を開設し、1988年に名称を

奥羽大学に変更し、2005年には薬学部を開設しました。以来、本日で歯学部は4,392名、薬学部は1,180名の学士を、大学院は413名の博士を世に送り出すこととなります。このように奥羽大学は、日本有数の医療系大学としての地位を確立しています。皆さんは、このことに誇りを持って卒業してください。

我々奥羽大学の教員一同は、創立以来の理念である「高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな人材を育成する」ために信念を持って皆さんの教育にあたってきました。このことは、我々の誇りです。そして、卒業生全員の自信につながるものです。社会に出て何か困難なことに直面した際は、皆さんは日本の医療系大学の中で最も熱意を持った教員に教育を受けたことを思い出してください。必ず解決することができます。安心してください。

現在の日本は、「少子高齢化社会を切りひらき、誰もが夢を追求できる社会や、高齢になっても健康の不安なく、人生を楽しめる社会の実現」を目指しています。そして、これを実現するため

に政府によって「ムーンショット計画」が立案されました。この計画の目標7に、「2040年までに主要な疾患を予防・克服し100歳まで健康不安なく人生を楽しむためのサステナブルな医療・介護システムを実現」することがあります。当然のことながら、歯科医師・薬剤師の参加が無ければ、このムーンショット計画は実現できません。すなわち、皆さんはこれからの日本社会の発展になくてはならない人なのです。

しかし、どれだけ優れた才能に溢れた歯科医師・薬剤師になっても本学の理念である「人間性豊かな人材」という原点を忘れてはなりません。「人間性豊かな」ということは、「人としての徳」を持つことです。そのために、人は志を持ち、清廉な心を持たなくてはなりません。ぜひ、皆さんは志を立てて、それを必ず達成させてください。私はこれまでに多くの医療人や研究者の方々と接してきましたが、その人の成功を決定するのは技術の高さや知識の多さではなく、その人の人柄であり、「徳」であると痛感しています。そして、皆さんが卒業後もさらに高い医療技術や歯学・薬学の先端的知識を身に付けなくてはならない理由は、そのことを他の人に自慢するためではありません。それは病に苦しむ患者さん

を助けるためのものであり、皆さん自身の徳を高めるためのものです。

最後に、私がいつも心に刻んでいる言葉を贈らせていただきます。それは、「貞観政要」という書籍に出てくる「三鏡」の中の「人の鏡」と「銅の鏡」です。貞観政要は、中国の唐の時代に編纂された有名な古典ですが、現在でも通用する名著です。まず、「人の鏡」とは、他人の厳しい言葉を受け入れて自分自身を変革することの必要性を意味します。これからの社会生活の中で、上司、先輩や友人から様々な意見を投げかけられることがあるかと思います。その際は、素直にその言葉を受け入れて自分を見つめ直してください。そして2つ目の「銅の鏡」とは、鏡に自分を写した時に常に明るく元気な顔をしていることを確認することです。

奥羽大学の卒業生は、非常に礼儀正しいとの声を学外の方からよく聞きます。これは、先輩の方々が残してくれた大切な財産です。皆さんであれば、この伝統を引き継ぐ歯科医師・薬剤師として活躍してくれると確信しております。これから、医療人として素晴らしい人生を歩んでくれることを願って、祝いの言葉とさせていただきます。

2022年度福島県医療福祉関連教育施設協議会 県中地区ネクストホープ研修会の開催

福島県医療福祉関連教育施設協議会は、福島県内の医療福祉の教育施設間の連携を通して、将来の県内の医療を担う若者を“ネクストホープ”と呼んで毎年研修会を開催している。昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大の最中であつたため開催できなかったが、2022年度は協議会会員校の協力の下開催することができた。本学薬学部からは3年生2名、2年生3名が参加した。

2022年11月5日(日)、ポラリス保健看護学院メグレズホールにおいて第1回研修が開催され、テーマは『多職種連携で衛る災害時のいのちとくらし～災害を乗り越えた私たちができること～』であつた。午前はシンポジウムが開かれ、2011年東日本大震災の時に様々な救助支援を経験された看護師・保健師・作業療法士の方々や

2016年熊本地震の時に災害医療チームの薬剤師として派遣された方から貴重な経験を聴くことができた。午後は、「災害発生！どう行動する？」をテーマにグループワークを行った。参加学生は、自然災害に対して、人として、医療人育成機関の学生として、また自分の目指している専門職者として考え、議論した。

12月3日(土)には、第2回研修会を郡山看護専門学校において開催した。この回は「避難所運営をみんなで考えてみよう！！」をテーマに、避難所運営ゲーム「HUG(ハグ)®」を利用して、グループに分かれて仮想避難所の運営をシミュレーションした。様々な医療職種の立場で、避難所にやってきた被災者に効率的に対応することの難しさを実感している学生が多かつたようである。

第72回奥羽大学歯学会の開催

第72回奥羽大学歯学会が11月12日(土)に開催された。新型コロナウイルス感染症対策としてZoomを用いたオンライン開催であったが、当日は学位口演6演題を含めた10演題の発表があった。学位口演は大学院生の今までの努力が認められる内容で、多くの教員から建設的な質問や助言などがあり、大学院生及び指導教員にとって非常に有益な機会となった。また、臨床研究に関しても3演題が発表された。臨床研究の質的向上は、現在の歯科医学研究において最も求められていることである。今回の発表は、いずれも臨床現場で問題となっている課題に積極的に取り組んだものであり、今後の研究の進展が強く望まれる。

第61回日本薬学会東北支部会の開催

去る2022年11月27日(日)、奥羽大学薬学部医療薬学分野伊藤鍛教授を大会長として本学薬学部が事務局となり、第61回日本薬学会東北支部会を開催した。現地開催に向けて準備していたものの、依然として新型コロナ感染状況の改善が見られなかったため、完全オンライン開催となった。

本学会は、化学系薬学、物理系薬学、生物系薬学、環境・衛生系薬学、医療系薬学、教育系薬学に分かれており、各分野合計の演題数は85に上り、参加人数は141名を数え、活発な議論が展開された。また、本学薬学部からも多くの演題が発表された。

さらに、早稲田大学先進理工学部柴田重信教授をお招きして、「時間栄養学の視点で健康科学を考える」と題した特別講演をいただいた。ヒトの睡眠覚醒リズム、体温変化や血圧変動は日内変動が知られており、これに大きくかかわっているのが時計遺伝子である。この機能を応用して疾病や投薬時間を考慮する時間薬理学が登場し、さらに、時間薬理学を食・栄養科学に応用して体内時計と食や栄養との相互関係を明らかにする時間栄養学が誕生した。柴田先生は、食・栄養が体内時計に及ぼす影響について多くのデータを踏まえてご教授くださった。ヒトの体内時計は24時間周期ではなく、それより15～

30分程度長いことが知られており、このずれをリセットするのが外界の朝の光刺激である。一方、夜遅く摂る食事は末梢臓器の時計を夜型化してリセットさせるため、臓器間の時差ぼけが生じて体調を崩すとの説明があった。柴田先生は「社会的時差ぼけ」という言葉で表現され、週末に寝だめすることの有害性も指摘された。週末寝だめをして生活リズムを崩すと、日本時間で生活していても体内時計はインド時間として働いていることもあるようである。つまり、インドと日本では3.5時間の時差があり、日本で午前8時30分はインドでは早朝5時なので脳を含めた各臓器は眠いわけだ。本学学生の学業成績にも影響しかねない話として拝聴した。

2022年度薬学部第2回FD研修会

去る2月7日(火)にオンラインにて、薬学部FD委員会主催による第2回FD研修会を開催した。山梨学院大学学習・教育開発センター長・特任教授の成田秀夫(なりたひでお)先生をお招きし、「薬学部学生の社会性を伸ばす PROG 活用法」という講演を拝聴した。PROGとは、専攻・専門に関わらず、社会で求められる汎用的な能力・態度・志向=ジェネリックスキルを測定・育成するためのアセスメントプログラムであり、国内では各大学のInstitutional Research (IR) 活動として教育の質評価の観点からPROGが活用されている。

私たちが学内の講義で学生に養ってほしいものは、専門科目の知識やそれを活用した問題解決能力であるが、一方で「見えにくい力」(思考力など)や「見えない力」(人間性など)を点数化して可視化できるようにしたものがPROGテストである。「見えにくい力」は「リテラシー」(地頭のよさ)、「見えない力」は「コンピテンシー」(経験から身に着く態度や志向)と定義される。2022年度現在の薬学部生1年～4年生のスコアはすでに初年次教育委員会が実施したPROGテストで測定されており、このデータに基づいた本学薬学部生のジェネリックスキルの現状分析を聞くことができた。PROGは、本学の理念にある「人間性の豊かさ」を可視化できるので、これを十分に活用して教育の質の向上に役立てていけるものと考えられた。

附属病院

自衛消防訓練

昨年12月13日(火)、自衛消防訓練が附属病院で実施された。新規採用の教職員を中心に学内外の約40名が参加した。病院棟3階総合歯科診療室付近から火災が発生し、逃げ遅れた者がいるという想定に基づいて行われた。5階に設置している垂直式救助袋を利用した避難では、参加者が積極的に脱出の訓練にあたった。また、消火器を用いた訓練では、新人歯科衛生士等が屋外で実際に放水を行い、消火に必要な技術を訓練した。



自衛消防訓練

ちょっと寄り道! 「ヴァリニャーノが見た日本人」

日本に西洋の活字印刷をもたらしたヴァリニャーノの著書に『日本巡察記』（松田毅一ほか訳 平凡社 東洋文庫）229）がある。日本の巡察使としてイエズス会本部に書き送った機密報告書（1583年）で、日本の社会や風俗、布教情勢などが仮借なく記されている。当時の外国人の目に、日本人はどのように映ったのだろうか。関係箇所を拾い出してみよう。

- ・人々は礼儀正しく、礼節、上品、国民は有能だが、一般に貧困である。
- ・日本人は全世界でもっとも面目と名譽を重んずる国民である。
- ・領主はその家臣の生命、財産を左右する権力を有しているので、家臣たちから畏敬されている。
- ・日本人は忍耐強く、飢餓や寒気、また人間としてのあらゆる苦しみや不自由を耐え忍ぶ。怒りを外部に示さず、だまし打ちする。直接面と向かって話をしない。
- ・日本人は優雅で礼儀正しく、秀でた天性と理解力を有する。
- ・日本人は心が清らかで、恥を知る心を有するから、一切の窃盗を嫌悪し、施与されたり借金しないために極度に貧困に堪える。

ヴァリニャーノの見た日本は安土桃山時代のことであるが、今日でもなるほど思いあたるところがある。戦後、ノドス・ベネディクトが『菊と刀』で述べている日本の恥の文化、個人の内面よりも他者の評価を基準として行動する日本人像と相通ずるものがある。

(A)

2022年度学位授与論文題名一覧

(学位記番号順)

学位取得者	専攻・講座	論文題名
森山 光	生体管理学	Immunohistochemical Analysis of Nerve Distribution in Maxillary of Rats
鈴木 海路	口腔機能解剖学	Anatomical Morphometry for Cricothyrotomy Puncture and Incision
田中 真喜	歯周・歯内療法学	歯周炎患者に対するPAOOと歯周組織再生療法の併用療法の有効性に関する後ろ向きコホート研究
小澤 慶之	保存修復学	テアフラビン溶液による <i>Enterococcus faecalis</i> , <i>Streptococcus mutans</i> に対する殺菌効果の検証－カテキン溶液との比較－
入澤 正晃	口腔機能解剖学	Morphological Observation of the Buccinator and Superior Pharyngeal Constrictor Muscles
向井雄一郎	口腔機能解剖学	Morphological Observation of the Origin of the Mylopharyngeal Part of the Superior Pharyngeal Constrictor Muscle
福島 和美	口腔感染症学	<i>Candida glabrata</i> の免疫不全宿主に対する病原性
杉本 一野	口腔感染症学	<i>Candida tropicalis</i> 感染に対する宿主の免疫応答
神林 直大	顎口腔外科学	頭頸部扁平上皮癌における POSTN 遺伝子の発現量と生存率との相関性：in silico 分析



歯学部紹介

冠橋義歯学分野



(前列左から)五十嵐一彰 盛植泰輔 羽鳥弘毅 雨宮幹樹 (後列左から)山口雄大 伊藤 歩 大友悠資 内田光洋

皆様こんにちは、いかがお過ごしでしょうか。

本年3月13日(月)よりコロナに関しましてマスクの着用は緩和され、以前の日常が少しずつ戻っていくことに期待を抱いております。

当分野では「冠橋義歯補綴学講義(第3、4、6学年)」「冠橋義歯補綴学実習(第4学年)」と「臨床実習(補綴系診療)(第5学年)」を、羽鳥弘毅(教授)、五十嵐一彰(講師)、盛植泰輔(講師)、雨宮幹樹(助教)、伊藤歩(助教)、大友悠資(助教)、内田光洋(助教)、山口雄大(助教)のスタッフ8名で担当しております。

当分野において一番の目玉は「第4学年での冠橋義歯補綴学実習」です。実習では、固定性ブリッジの完成、レジン前装冠の完成、鑄造築造体のワックスアップを実技指導しています。当分野に所属するスタッフがこれらの実習内容を手際よく指導する姿勢には、いつも感謝の念でいっぱいです、ありがとう。

さてここで、皆様は「臨床推論」という言葉をご存じでしょうか。この言葉は第4学年で受験するCBT(computer based testing)で出題される問題の作問キーワードとなっております。では「臨床推論」を身につけるには何が必要でしょうか。それは、「想起→解釈→問題解決」

という「知識」であり、当然この「知識」は歯科医師国家試験にも必須です。この知識を養うために、歯科医師国家試験に出題された冠橋義歯補綴学関連の問題とこれらに関する基礎的問題をベースに、学生に対しては教科書⇔実習書⇔臨床術式の内容を深く理解するよう指導していくほかありません。年々難化していくCBTや国家試験に対応するためには、「指導者自身にもアップデートが必須」でしょう。2023年度は講義指導方法をブラッシュアップした形で提供したいと考えております。講義でのスライド内容を教科書に沿った形に改変し、視覚素材で臨床術式を伝えた後に文章内容を説明することで「教科書⇔実習書⇔臨床術式」が整理され、「想起→解釈→問題解決」に結び付くよう学生に指導する所存です。特に生体材料・歯科材料学分野での指導内容と冠橋義歯補綴学での指導内容は多くの部分で重複があり、冠橋義歯補綴学(のみならず臨床歯科学)を理解する上で必須の知識であることは自明です。学報171号において生体材料・歯科材料学分野教授故岡田英俊先生が強調されていたとおり、歯科医師国家試験合格率の向上のため一丸となってその意志を受け継ぎ歯科医師の育成に注力して参ります。



薬学部紹介

生物学分野



(向かって左から) 小田中啓太、三宅正紀、古泉博之、山下俊之、櫻井敏博、守屋孝洋

薬学部の生物学分野は、教授3名（山下俊之、守屋孝洋、三宅正紀）、准教授2名（古泉博之、櫻井敏博）、講師1名（小田中啓太）で構成されています。なお、櫻井准教授は衛生化学分野を兼担しています。担当授業は第1学年の「生物学Ⅰ・Ⅱ」、「生化学Ⅰ」、「機能形態学Ⅰ」、第2学年の「生化学Ⅱ・Ⅲ」、「機能形態学Ⅱ」、「免疫学」、「微生物学」、第3学年の「細胞生物学」、「分子生物学」です。また、実習科目として第1学年の「薬学基礎実習(生物)」、第2学年の「生物系実習Ⅰ・Ⅱ」を担当しています。さらに関連する薬理・病態系の科目にも関わり、山下教授は「内分泌疾患」、「アレルギー・免疫疾患」、守屋教授は「悪性腫瘍」、「血液・造血器疾患」、三宅教授と小田中講師は「感染症」をそれぞれ担当しています。このように基礎から臨床まで非常に幅広い分野の教育にあたっています。

研究では、山下教授はアレルギー発症に関わるマスト細胞の高親和性IgE受容体を介する細胞内情報伝達機構について、受容体のリン酸化部位特異的モノクローナル抗体を開発して解析を進めています。守屋教授は概日リズムの研究に従事しており、体内時計の働きを整える食成

分の探索や、子供の時の環境が成長後の体内時計の働きに与える影響についての研究を進めています。三宅教授は病原微生物の病原機構に関する研究に従事しており、特にレジオネラ属菌、ヘリコバクター・シネディのマクロファージ感染を重視した病原性発現機構の解明に取り組んでいます。古泉准教授は脳の神経回路の形成、維持に関与する分子・細胞メカニズムおよびその破綻による脳と心の病気を研究しており、その一端として、神経回路形成に関与する遺伝子を欠損させた、衝動性を示す発達障害モデルマウスを用いて、衝動性の神経基盤の解明を目指しています。櫻井准教授は妊娠の成立機構を明らかにすること、また胎盤がどのように進化してきたのかを遺伝学的、分子生物学的に解明することを目標に研究を進めています。小田中講師は新規抗菌薬やバイオフィーム形成阻害薬などの探索、および百日咳菌などが属する *Bordetella* 属細菌の病原因子について解析を行っています。このように各教員がそれぞれの専門分野で研究を進め、論文発表、学会発表を行っています。

キャンパスの 風景

ジーンズの女

山田良定作(設置場所:奥羽大学正門そば)

表紙写真の塑像は山田良定氏が1992年、第24回日展に出品された作品です。

奥羽大学正門そば、守衛室の横に設置されています。

ジーンズ姿の女性が半掛けの姿勢でイスに座り、正門から構内に入って来る人を眺めています。誰かを待っているような感じがします。誰を待っているのでしょうか。

この像を見る人の心の中にその面影はあるかもしれませんよ、と誰かがいいました。

「春を待っているんだよ」と、誰かもいいました。

安積おろしも、そろそろ新学期を迎える春風に変わりそうな時期です。

希望をいっぱいふくらませてやってくる暖かい春の日を、ジーンズの人は待っているのかもしれない。「新生生のみなさん、待っていたよ」と。

作者の山田良定氏は昭和6年、滋賀県東近江市に生まれ、滋賀大学卒業後富永直樹氏に師事され、昭和50、51年日展で連続特賞を受賞しました。母校滋賀大学で教授をされ、平成14年、栗東市の病院で亡くなりました。

師匠の富永氏は文化勲章を受章された芸術家です。本学の「躍進」像と「Christmas Eve」像の作者です。キャンパス美術館はますますにぎやかになってきました。

(A)



ジーンズの女

同窓生のひろば



依光 高志 (歯学部28期生)

陽春の候、同窓生の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

青森県支部の依光です。

高知県高知市に生を受けた私が、青森県は弘前市で広報の執筆中なのです。大学を卒業後、栃木県の大先輩にあたる増淵先生の医院で様々な勉強をさせて頂き、今後の身の振り方を熟考していた折に東日本大震災、両親との死別と様々な環境変化が身に降りかかりました。結果、気が付いたら弘前にて開業していました。

開業当初、知り合いもいない不安だらけの中、最初にお声がけて頂いたのはやはり同窓の先生方でした。同窓会へお誘い頂き、本当にあり

がとうございました。

高知人のさがか、お酒の席に呼ばれば断らないことに加え、若い同窓生の参加者がいないために役員にもなっていました。こんな言い加減な自分が役員に携わる危機的な状況を、若い同窓生、最近参加されてない同窓生の皆様の参加で改善して頂ければ幸いです。

高知の人間が縁あって福島県、栃木県と渡り歩き、青森に腰を落ち着かせました。これからも縁を大事にしていきたいと思えます。支部の同窓会に参加されたことのない方は、是非ご良縁を探してみてください。

最後に、貴重な機会を頂きました青森県支部長の久米田譲先生ありがとうございました。

昨年9月に移転先の医院も完成し、スタッフ雇用問題などではありますが、なんとか一息つけるようになりました。今後も母校や同窓生のより一層のご活躍を祈念いたします。

森田 和弘 (歯学部7期生)

卒後何年経つだろうか。

4、5年前に郡山に立ち寄った時、あまりの様変わりに驚きました。

伊藤下宿が無い、裏山も綺麗に整地され、宅地になっている。私が居た時には、裏山にはキジが鳴いて周りはわずかな家と田んぼばかりだったのに浦島太郎の気分とはまさにこのことでしょう。

そして今日の歯科治療に関しても同様に感じられます。

私達が卒業した頃には、インプラントが普通に歯科医院で行われているなんて誰が想像できたでしょうか。

根管治療においてもマイクロスコープの使用、Ni-Ti ファイルの発売、根管拡大と同時に根管長測定ができる機器等、様々な物が発売されてきました。ただ、私としては購入した時よりも上手に出来ているのか不安に思うところがあります。数え上げるとキリがなく、この先どんな機械が発売されてくるのか楽しみな反面、それを購入できるだけの資金が有るのかも、ますます不安が増すところです。

今までどれほどの患者さんに様々な事を教わり、色々なご迷惑をかけ成長させて頂き、何度心の中で手を合わせてごめんなさいと呟いたことか。

ただこの年になっても患者さんが来てくれているから、ありがたいの精神だけは忘れずにがんばっています。

永澤 佑佳 (薬学部1期生)

皆様こんにちは。私は薬学部の第1期生です。同窓生の皆様は、どのようにお過ごしでしょうか。約15年前、郡山の町で、薬剤師になるための多くのミッションに打ちひしがれながらも、友人たちとプリクラを撮ったり、駅前のタリーズコーヒでコイバナをしたりと、いかにも大学生らしいトキメキの生活を送っていたことが、とても懐かしく思い出されます。

私は、大学卒業後、東北医科薬科大学大学院修士課程を修了し、国立病院機構仙台医療センターへ入職しました。その後、同福島病院、同弘前総合医療センターでの勤務を経て、2018年よ

り再び仙台医療センター(以下、当院)で業務にあたっています。現在は、医薬品情報管理主任として主にDI業務に従事していますが、並行して妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師として周産期医療にも携わっているため、本日はこれについて紹介させていただきます。

妊娠・授乳中に薬剤を使用することに関しては未だ情報が限られていますが、催奇形性・胎児毒性や成長・発達への影響を考慮した上で、母子双方に最適な薬物療法を提案するのが、この分野の認定薬剤師の役割です。当院では、合併症治療のために服薬している妊婦がいる場合に、薬剤に関する疫学データや文献情報などを集めてカルテに記載し、医師や助産師と情報を共有しています。そして、その中で母親やご家族へ直接情報提供すべきと判断されたケースでは、薬剤師がカウンセリングを行っています。このように、当院では薬剤師が専門知識を活かし、母親(ご家族)が自身の受ける治療について正しく理解し、倫理的・科学的に適切な判断ができるよう、支援にあたっています。

私は現在、病院薬剤師として少しずつ経験を積むことができている、日常業務でも専門分野でも多くのやりがいを感じています。学生時代とは違っても、相変わらず(少しオトナの)トキメキの日々が続いていることに感謝し、今後も精進してまいりたいと思います。

岡田英俊先生を偲んで



奥羽大学歯学部生体材料学講座教授である岡田英俊先生は、2023年2月23日(木)に享年52歳でご逝去されました。闘病中ではいらっしゃいましたが、52歳という若さでの突然

の訃報に深い悲しみと寂しさを禁じ得ません。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

岡田先生は1995年に奥羽大学歯学部を卒業され、その年の4月から歯科理工学講座に助手として在籍されました。2001年に「ガラスアイオノマーセメントの接着耐久性に関する研究」で歯学博士の学位を授与され、翌2002年に講師に昇任されました。2007年に准教授に、そして2015年に生体材料学講座教授に昇任され、27年間の長きにわたり、研究および教育に貢献されました。研究においては、ボンディング材の保存方法が歯質接着強さに及ぼす影響を主要テーマとされ、新しい仮封材・仮着材を考案・開発されました。また、現在では日常的に取り入られている機能水にもいち早く注目し、その作製と効果について研究されていました。2022年から日本歯科理工学会の北海道・東北支部の会長に就任され、これからのご活躍を期待されておりました。

さらに、教育においても講義・実習のみならず、入院されるまでクラス担任や学年主任を歴任されました。学生さんたちと真剣に向き合い、ま

た楽しそうに談笑されている姿が印象的でした。

自動車と競走馬がお好きで、昼食時などの休憩時間にはよくそれらの話を聞かせてくださいました。どちらも専門の研究分野であるかのように精通されておりました。研究室におりますと、岡田先生の廊下まで響き渡る朗らかな笑い声が思い出されます。

これまでにいただいた温かいご指導に感謝するとともに、安らかにご永眠されますようお願い申し上げます。そして叶いますれば、偶に私共の様子を覗きにきて「安眠妨害だからちゃんとしろ」と叱咤激励を賜りますようお願い申し上げます。

奥羽大学歯学部生体材料学講座
石田 喜紀

人 事

<定年・再雇用>

本田 ヨリ子	栄 養 士	病院事務部	1月5日付
	栄 養 士	病院事務部	1月6日付

<採用>

石田 みどり	看 護 師	病院医療部	1月10日付
--------	-------	-------	--------

<退職>

鈴木 由美子	看 護 師	病院医療部	11月30日付
宮嶋 唯 助	教 師	附属病院	12月31日付
勝田 里 緒	助 教	〃	〃
佐久間 里 織	主 任	病院事務部	1月31日付

奥羽大学報173号 (通算No.298) 2023年3月31日発行
発 行 奥 羽 大 学
学 報 編 集 委 員 会
委 員 長 清 浦 有 祐

☎963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31番1
電話 024 (932) 8931(代) FAX 024 (933) 7372
ホームページアドレス <http://www.ohu-u.ac.jp>
メールアドレス info@ohu-u.ac.jp

**給付型
特待生
制度**

最大**6**年間
学費
フルサポート
返納義務無し

キミのやる気と実力を存分に活かしてほしい。
医療人としての人生をここから始めよう。
人間性豊かな歯科医師、薬剤師になるために。

歯学部

薬学部



奥羽大学 **歯学部** **薬学部**

TEL. **024-932-9055** (歯学部)

TEL. **024-932-8995** (薬学部)

〒963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31番1
FAX. 024-933-7372 E-mail: info@ohu-u.ac.jp

奥羽大学 **検索** www.ohu-u.ac.jp

奥羽大学 **東北歯科専門学校**
姉妹校

歯科衛生士科 **歯科技工士科**